

令和 4 年度 国分寺市障害者基幹相談支援センター事業報告

1 事業全体を振り返って

① 事業運営

市との仕様書にある事業は、全て予定通り遂行した。特に力を入れた 2 つの取組について説明する。基幹相談支援センター（以下「基幹」という。）独自のウェブサイトを立て上げるため、令和 3 年度より準備を開始し、令和 4 年 4 月より正式に運用を開始した。このウェブサイトは、基幹の取組を広報すると共に、市内の相談支援専門員の業務サポートのために開設した。令和 3 年 4 月から 1 年間の法人ウェブサイト全体の訪問数は 14,929 件、ページ閲覧数 34,669 件で、その中の基幹ページ閲覧数が年間 1,499 件に対し、基幹独自のウェブサイトは、年間の訪問者数 15,245 人、ページ閲覧数が 116,006 件と利用されており、法人ウェブサイトの基幹ページと比べ、基幹独自のウェブサイトの閲覧数が大幅に増えていることが分かった。今後に向けて相談支援専門員・専用ページでは、連絡会・研修等の日程、相談支援の加算についての情報、国分寺様式集等、業務に必要な情報や資料を取り出すことができる Google マイマップを作成中である。障害福祉サービス別の事業所および各種アウトラインを地図化（見える化）し、激務である相談支援専門員の業務軽減に貢献していく。

2 つ目は、市内の地域包括支援センター（以下「包括」という。）全 6 事業所を初めて訪問し、地域の特色や課題についてインタビューを行った。訪問で聞き取った地域課題等は情報整理し、障害福祉課と共有し、研修や会議のテーマとして取り上げた。特に、スキルアップ研修ネットワーク研修Ⅱ（高齢分野－障害分野）では、包括職員と相談支援専門員が連携して支援し、65 歳の壁をスムーズに乗り越えることができた成功事例を扱った。講評を依頼した国分寺市障害者地域自立支援協議会会長の石渡和実先生からも高齢分野と障害分野の連携について期待を寄せていただいた。また、この訪問をきっかけに世帯に渡る支援が必要な家族に対し、連携した支援が始まっている。包括からも 8050 問題の解決、65 歳の壁問題の解決に向けて期待を寄せていただいております。令和 5 年度も継続して訪問し、交流・連携を深めていきたい。

② 利用者支援

包括から基幹への相談で始まった利用者支援は、高齢の親（80 歳代）と障害の子（50 歳代）を高齡福祉課・包括・ケアマネ・介護保険サービス事業所・障害福祉課・相談支援事業所・障害福祉サービス事業所・権利擁護センター・生活福祉課・民間企業・警察・基幹が連携し、本人と家族を支える地域の支援ネットワークを作り上げた。今後、本格的に開始されようとしている重層的支援体制整備事業にも通じる多分野・多職種が連携した支援の取組となり、数年にわたり行われていた高齡福祉課主催の虐待防止ネットワーク（個別ケース）を解決に導き、終了することができた。この家族は、今後も各支援者が見守り、支援を継続していく予定である。今後、8050 問題への取組と共に問

題が顕著に現れ始めた障害者の高齢化問題についてもテーマとして取り上げ、地域の支援者全体で学ぶ機会を作り、検討を深めていく予定である。

2 事業計画の個別事業の進捗状況と課題

個別事業名	目標に対する到達状況	課題
1. 相談支援事業所のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1/4 期内に、全事業所（12 事業所）との面談を状況に合わせて、訪問または、来所で行った。 ・ 市と質問内容を協議し、事前にメールすることで効率的に聞き取りができるようにした。 ・ 聞き取った内容から、研修や事例勉強会のテーマ、協議会での地域課題の検討、個別のコンサルテーションに結び付けた。 ・ 市運営の相談支援事業所（障害児）ケースの事業所引継ぎと令和 6 年度からの運営について、事業所・市・基幹の三者打合わせを定期的（年間 6 回）に開催した。 ・ 相談支援従事者初任者研修は、市内の相談支援体制の説明が全員共通する項目であることから動画を作成し、案内した。個別ケースを通しての気づきや現任者研修では、個別ケースから地域課題を一緒に検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所訪問、初任者研修、現任者研修は年間を通してスケジュールリングする。 ・ 市運営の相談支援事業所のアウトソーシングが完了した段階で三者打合わせは解散する。 ・ 主任相談支援専門員の役割分担について検討していく。
2. コンサルテーションの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定では 9 ケース × 2 時間 = 18 時間のところ 9 ケース（10 回） × 2 時間 = 20 時間実施した。 ・ 昨年度コンサルを受けた事業所は 4 事業所だが、働きかけにより、6 事業所の相談支援専門員にコンサルテーションを体験してもらえた。 ・ 講師として、公認心理師・サービス事業所施設長・精神科医等の専門家を招いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、新規の相談支援事業所にコンサルテーションの利用について丁寧に説明し、困難ケースについて利用していただくよう案内する。
3. 相談支援専門員研修の企画・運営 基本 新任研修 1 回/年 ブラッシュアップ研修 1 回/年 勉強会 2 回/年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新任研修 1 回 障害福祉課：支給決定基準、 経済課：消費生活相談について ・ ブラッシュアップ研修 2 回 ① 臨床心理士：神経生理学の基礎 ② 都立武蔵台学園特別支援教育コーディネーターとの交流、意見交換 ・ 事例勉強会 3 回 児童から成人へ相談支援事業所移行（7 ケース） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談支援専門員同士の交流、スキルアップのための知識、教育との連携、メンタルヘルス等、意見を取り入れ予定調整する。

<p>4. 支援者向け虐待防止研修の企画・運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会場とオンラインのハイブリットで開催した。 ・毎年12月に開催し、支援者間に定着してきた。 ・令4年度より、福祉関係者は悉皆研修となった。 ・参加者：オンライン125名、会場28名 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数を増やすための工夫を今後も検討する。 ・令和5年度は講師に障害者の高齢化を研究する方を予定。
<p>5. ネットワーク研修の企画・運営 スキルアップ研修 I・II・III</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク研修Ⅰ（地域移行）は精神科病院3病院に講演依頼した。研修Ⅱ（高齢福祉－障害福祉の連携）は、包括の協力を得て開催した。研修Ⅲ（障害児）は、東京都教育庁都立学校教育課学校健康推進課で障害者の性教育をテーマに活動されている職員と就労支援施設（性を取扱う民間企業が運営）の施設長を講師に招き開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の研修講師は、研修Ⅰ 精神科病院のNs、研修Ⅱ 精神科Dr、研修Ⅲ 予定した講師が異動のため再度検討中。 ・これまでの研修報告書を順次基幹ウェブサイトに掲載する。
<p>6. 自立支援協議会マネジメント業務</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会3回・事務局会議6回 ・相談支援部会3回・事務局会議3回 ・就労支援部会3回・事務局会議3回 ・精神保健福祉部会4回、事務局会議4回 ・相談支援事業所連絡会12回 ・障害児通所支援事業所連絡会2回 ・地域移行等支援連絡会19回 ・ニューズレター発行2回 <p>全協議会に委員及び事務局として運営に関わった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニューズレターは第11号よりリニューアルし支援者から当事者に必要な情報が届けられるような内容に変更した。11号は相談支援事業、12号は児童発達支援事業を特集として取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特集を組む施設は直接取材をする。 ・ニューズレターとウェブサイトを連動させ利便性や情報量の充実を図る。 ・体験の機会・場を周知するため、第13号は地域活動支援センター、第14号は短期入所を特集として取り上げる。
<p>7. 市との定例協議 その他連絡会等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市－基幹定例協議12回 ・国分寺障害者施設担当者意見交換会4回 ・医療的ケア児支援関係者会議3回、事務局会議3回 ・基幹相談支援センター連絡会2回 ・地域ケア会議権利擁護部会2回 ・消費者見守りネットワーク協議会3回 ・権利擁護関係機関連絡会3回 ・発達障害者関係機関情報交換会2回 ・高次脳機能障害関係機関連絡会2回 ・障害者/高齢者実務従事者虐待防止ネットワーク2回 ・社会福祉協議会、成年後見に取り組む民間事業所との面談の機会を今年度初めてもった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設担当者意見交換会は、今後は随時開催される予定。 ・医療的ケア児支援関係者会議は副会長及び事務局で関わる。 ・地域ケア会議、消費者見守り、虐待防止ネットワークは委員として参加し、その他は自主的に参加する。 ・社協、民間事業所との情報交換は今後も継続する。

8. 緊急度の高い ケースの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員の訪問に市と基幹で同行し、緊急入所保護事業の説明を行い、把握した情報は市と共有した。(3世帯・4人) ・緊急携帯は、センター長、主任、職員1で持ち夜間、休日に対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急入所保護事業は市内で行われているが、殆どの相談が日中に入っていると市から報告があった。セルフプランが増えている中、早めの連絡が定着しているのか検証が必要である。
------------------------	---	---

3 活動実績

令和4年度 相談業務実績 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

相談支援件数	3,916件
--------	--------

【個別ケースに関わる相談業務】

支援方法別件数

	訪 問	来所相談	同 行	電話等 相談	電子 メール	個別支援 会議	その他	計
件数	225	222	4	1,358	84	86	6	1,985

支援内容の内訳

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や症状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
件数	1,487	328	502	204	29	526	206	335

	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	虐待防止に関する支援	地域移行・地域定着に関する支援	その他	計
件数	79	26	32	82	87	100	4,023

【地域のネットワーク体制の構築及び研修等に関わる業務】

支援方法別件数

	訪 問	来所相談	電話等 相談	電子メール	その他	計
件数	225	193	781	726	6	1,931

【月別対応件数】

	個別相談件数	対応ケース数	その内の 新規ケース数	個別相談以外
4月	227	63	21	191
5月	252	48	10	144
6月	212	71	16	210
7月	159	63	10	136
8月	172	64	11	163

9月	132	47	9	203
10月	197	54	6	183
11月	129	42	6	172
12月	155	35	8	123
1月	160	46	6	135
2月	91	29	3	127
3月	99	30	2	144
合計	1,985	197 (実数)	108	1,931

⑤地域の相談支援事業者の研修等

日付	テーマ及び内容	対象	備考
5月19日	【事例勉強会】事例検討 児童から成人へ相談支援事業所移行ケース 4件	・相談支援事業所	参加者：15名
6月17日	【ネットワーク研修Ⅰ（地域移行）】 「地域支援機関と精神科病院との連携 ～連携事例を共有し、具体的な取組につなげよう～」 講師：前沢 高志 氏 公益財団法人井之頭病院相談室 ソーシャルワーカー 講師：大西 保正 氏 医療法人社団東京愛成会高月病院地域連携室 室長 講師：松村 洋明 氏 医療法人社団根岸病院 常務理事/精神保健福祉士	・相談支援事業所 ・地域活動支援センター ・障害福祉サービス通所支援事業所 ・共同生活援助事業所 ・地域包括支援センター ・行政 ・精神科病院 ・精神科クリニック ・訪問看護ステーション	参加者：39名 ・障害福祉サービス事業所（障害）：16名 ・精神科病院：7名 ・地域包括支援センター：9名 ・行政、他：7名
6月21日	【新任研修】 「支給決定基準について」 講師：千田 孝一 氏 国分寺市福祉部障害福祉課事業推進係 係長 「消費生活相談について」 講師：長澤 いつわ 氏 国分寺市市民生活部経済課消費生活相談室 消費生活相談員	・相談支援事業所	参加者：13名
7月21日	【事例勉強会】ケース検討 児童から成人へ相談支援事業所移行ケース 4件	・相談支援事業所	参加者：14名
8月18日	【事例勉強会】ケース検討 児童から成人へ相談支援事業所移行ケース 1件	・相談支援事業所	参加者：11名
9月15日	【ブラッシュアップ研修】 「神経生理学の基礎」 講師：角田 みすゞ 氏 ベル相談室 公認心理師/臨床心理士	・相談支援事業所	参加者：11名

10 月 20 日	【ネットワーク研修Ⅱ（高齢福祉－障害福祉）】 「障害福祉から介護保険へ ～調整期間の有効活用を考える～」 講師：石渡 和実 氏 東洋英和女学院大学名誉教授 国分寺市障害者地域自立支援協議会 会長	・相談支援事業所 ・地域包括支援センタ ー ・社会福祉協議会 ・行政	参加者：37名 ・相談支援事業所：16名 ・地域包括支援センター ：7名 ・社会福祉協議会：4名 ・行政、他：10名
12 月 2 日	【支援者向け虐待防止研修】 「事例から学ぶ虐待防止 ～虐待防止の取組は職員も救う～」 講師：山内 哲也 氏 社会福祉法人武蔵野会 リアン文京 総合施設長	・相談支援事業所 ・障害福祉サービス通 所支援事業所 ・障害児通所支援事業 所 ・共同生活援助事業所 ・居宅介護事業所 ・短期入所事業所 ・保育、教育機関 ・行政機関 ・その他福祉関係者、 他	参加者：153名 ・オンライン：125名 ・会場参加：28名
1 月 20 日	【ブラッシュアップ研修】 「特別支援教育コーディネーターの業務・役割につい て」 講師：野口 浩一 氏 東京都立武蔵台学園 主幹教諭 / 特別支援教育コーディネーター 講師：松田 稚佳子 氏 東京都立武蔵台学園 特別支援教育コーディネーター	・相談支援事業所	参加者：14名
2 月 21 日	【ネットワーク研修Ⅲ（障害児）】 「福祉職の性支援と多職種連携 ～今なぜ、学ぶ必要があるのか～」 講師：笹渕 真子 氏 東京都 教育庁 都立学校教育部 学校健康推進課 課長代理 ゲスト：木村 利信 氏 株式会社 TENGA 就労支援施設「able!FACTORY」施設長	・相談支援事業所 ・地域活動支援センタ ー ・障害児通所事業所 ・学校及び教育関係者 ・学童保育所/児童施設 ・障害福祉サービス 事業所 ・共同生活援助事業所 ・行政 ・企業	参加者：46名 ・相談支援機関：11名 ・障害児通所事業所 ：11名 ・学校及び教育関係者 ：5名 ・学童保育所 /児童施設：7名 ・障害福祉サービス事 業所（成人）：8名 ・行政：2名 ・企業：2名

⑥権利擁護等に関わる研修及び会議への出席

月	日	研修名	主催	参加人数
5	25	権利擁護関係機関連絡会	権利擁護センターこくぶんじ	1名
6	22	地域ケア会議 権利擁護部会	高齢福祉課	2名
6	22	消費者見守りネットワーク協議会	経済課	2名
6	24	障害者虐待防止ネットワーク 実務者会議	障害福祉課	1名
6	24	高齢者虐待防止ネットワーク 実務者会議	高齢福祉課	1名
7	15	虐待防止研修（管理者研修）	社会福祉法人万葉の里	1名
7	21	虐待防止研修（基礎編） 「高齢者・障害者虐待の基礎的な概念理解」	東京都多摩総合精神保健福祉 センター	1名
9	12	高齢者虐待防止ネットワーク 個別ケース会議	高齢福祉課	2名
9	28	消費者見守りネットワーク研修	経済課	1名
10	5	権利擁護関係機関連絡会	権利擁護センターこくぶんじ	1名

10	6	虐待防止研修①	社会福祉法人万葉の里	5名
11	7	高齢者虐待防止研修 「機関間、職種間協働に必要な コミュニケーションスキルを学ぶ」	高齢福祉課	1名
11	21	高齢者虐待防止ネットワーク 個別ケース会議	高齢福祉課	2名
12	8	虐待防止研修②	社会福祉法人万葉の里	4名
12	14	障害福祉サービス事業所職員研修 障害者虐待防止研修「精神障害を中心にして」	東京都多摩総合精神保健福祉 センター	1名
1	19	地域ケア会議 権利擁護部会	高齢福祉課	1名
1	19	消費者見守りネットワーク協議会	経済課	1名
2	9	権利擁護関係機関連絡会 「支援者向けメンタルヘルス研修」	権利擁護センター	1名
2	13	虐待防止研修③	社会福祉法人万葉の里	3名
3	15	サポーターズカレッジ eラーニング 障がい者支援の基礎 障がい者虐待防止について「身体拘束について」	社会福祉法人万葉の里	5名
3	17	高齢者虐待防止ネットワーク 個別ケース会議	高齢福祉課	2名